



茨城ワイズメンズクラブ
2020年度-2021年度
1月報 Vo 1.149

強調月間テーマ

IBC/DBC

THE Y'S MEN'S CLUB OF IBARAKI CHARTERED 2006



国際会長主題.....「命の川を信じよう」
アジア太平洋地域会長主題.....「変化をもたらそう」
東日本区理事主題.....「変化をたのしもう！」
関東東部部長方針.....「学びと親睦を糧に外へ向かおう！」
茨城ワイズ会長主題.....「楽しくやれる方法を考えよう」

<1月例会プログラム>

と き:2021年1月15日(金)
19:00~21:00

と ころ:筑波学園教会教育会館 1F
(オンライン開催の可能性あり)

司 会:熊谷 光彦

開会挨拶と点鐘:熊谷 光彦

ワイズソング:

ワイズ信条:

- 1、自分を愛するように
隣人(りんじん)を愛そう
- 1、青少年のために YMCA に尽くそう
- 1、世界的視野をもって
国際親善をはかろう
- 1、義務を果たしてこそ
権利が生ずることをさたろう
- 1、会合には出席第一
社会には奉仕第一を旨としよう

今月の聖句・食前感謝:

協 議:

「茨城ワイズ年頭の抱負」他
ハッピーバースデー&

おめでとう結婚記念日:

スマイル:

茨城YMCA報告:大澤 篤人

閉会挨拶と点鐘:熊谷 光彦

★巻頭言★「新年に想うポスト・コロナの茨城ワイズ」

茨城 YMCA 総主事 宮田 康男

イエス・キリストの誕生によって、それまでの戒律などに縛られていた人々が大きく価値観を変えられて、西洋にキリスト教の文化が根付いて 2021 年。そのことと対比するには、少し無理があることではしょうが、社会の変化という面では今、新型コロナウイルスの影響で大きく社会が変わる節目にあることには間違いのないでしょう。たとえば、校則の厳しいある私立高校生の服装にマスクの規制が馴染まずカラフルなマスクを認めざるを得なかったとのこと。結果として、校則をゆるめても悪影響は何もなく、却って生徒が明るく活発になったという話です。全国の YMCA 担当者会でもオンラインの会議が進み、わざわざ東京や御殿場の日本 YMCA 東山荘まで出かけなくてもよくなりました。そのことで全国の YMCA で旅費・交通費・宿泊費は、どのくらい節約されたでしょうか？ また今後、そのことの後遺症はあるのでしょうか？ 身近なところでも多くの変化が起こっていくことと思いますが、それらを受け止め、より理想形に近づけていく努力も起こってくることでしょう。つくばでは、東京との距離感が好まれ住みやすさも評価され、転入する人が増えているとのこと。ヨーロッパでは、公共交通機関を避け自転車が売れに売れていると聞きます。つくばでも平坦な地形を利用して、自転車がもっと活用されるといいのですが・・・(サイクリング会長熊谷ワイズもなお一層忙しくなるかも知れません)。

私たちがワイズの活動をしながら、様々なその変化を受け止め、改良改善し、アフターコロナの時代を楽しむ心のゆとりが大切になるのでしょうか？ 社会の変化は止めること

☆今月の聖句☆

新しい歌を主に向かって歌え。全地よ、主に向かって歌え。主に向かって歌い、御名をたたえよ。日から日へ、御救いの良い知らせを告げよ。

詩篇 96 編 1~2 節

は出来ません。新しい年に新しいアイデアで茨城ワイズの活動も変容し地域社会にとって良い方向への変革を進められるといいでしょう。間違ってもぎすぎすした「マスク警察」の続くような社会にはなってほしくないと思います。

新年は、心身共に新しい思いで力を合わせて茨城ワイズの活動を進めましょう！ できれば牛久市など県南に息子ワイズ・娘ワイズを誕生させられたらイイナ〜と・・・。

【茨城クラブ 12 月例会報告】

12 月クリスマス例会は、10 ヶ月ぶりにリアル会場も用いてオンラインとのハイブリッド開催となりました。茨城県南に緊急事態宣言が発令されるなか出張でつくばを訪れた書記村田と熊谷会長は筑波学園教会に、オンラインでの参加は 4 名、さらに執務中の宮田総主事も少し顔を出してくださり 7 名での開催となりました。



毎年 12 月例会は、牧師先生をお招きして講話をいただくのが通例ですが、現在の状況下もあり、片山ワイズより「イエスの父、ナザレのヨセフ」と題して主イエスの養父と

されるヨセフに関わるお話をいただきました。クリスマス前にしてヨセフの生きざま、はたらきを通して、わたしたち一人ひとりがこの世にて与えられている役割について思いを巡らす時間となりました。

その後は片山ワイズがブリテン巻頭言に記載したクイズのことなどで歓談し、20 時すぎには閉会となりました。



12 月例会（ハイブリッド開催）出席状況

会員：リアル 3 名（熊谷、村田、宮田）、リモート 4 名（片山、稲本、柳瀬、大澤）、メネット：0 名、スタッフ：0 名、リーダー：0 名、ゲスト：0 名、出席総数数：7 名、在籍者会員数：9 名、会員出席率：78%

【野外活動委員会報告】

野外活動委員会は、茨城 YMCA の理事、スタッフ、メンバー保護者の会、リーダー-OBOG、ワイズメンバーなどで構成され、2 年前の立ち上げ以降、2 ヶ月に 1 回程度の会議ならびに年 1~2 回のイベントの企画運営を続けております。リーダー・スタッフの同窓会イベントを昨年同様に企画しておりましたが、今年は、リアル開催が中止となり、秋にハイブリッドでの開催を企図しておりましたが、COVID-19 のさらなる感染拡大により現在延期となっております。

あいにく冬季の野外活動はスキーキャンプを含め全て中止・延期となってしまいました。そのなかでも、今年新規にリーダーとなってくれた人たちへの成長サポートならびにいつも YMCA の野外活動を楽しみにしてくださっているメンバーとご家族のみなさまに、このような状況下でも少しでも YMCA の息吹を感じてもらえるよう、アイデアだしを継続しております。

多くの野外活動が中止となりましたが、代替企画として年末にオンラインでの「いばわい歌謡祭（キャンプソング）」の実施や、年初に開催予定のオンラインでのイベント等により、精力的な活動を継続しております。



かねてからボランティアリーダーの減少に直面しておりましたが、昨年 1 年で 8 名の学生リーダーが新たに参加してくれました。リーダーの育成のため、リーダーとスタッフだけの宿泊研修なども、今年は企画する見込みです。

【事務報告】

会計報告（12 月 6 日～1 月 14 日）

前月繰越金	51,289
会費入金	24,000
送料(会員宛資料送付)	▲752
次月へ繰越	74,537

ワイズメンのみなさまにおかれましては引き続き会費の前納について、ご協力を賜りたく願います。

(会計 柳瀬)

【茨城 YMCA 報告】

12月の報告

- 1日 主任会
- 3日 インフルエンザ予防接種
- 5日 小学生クリスマス祝会（中止）
- 7日 早天祈祷会（中止）
- 7日 中国語講座体験会（中止）
- 7-8日 北関東ディレクタートレーニング
- 9日 総務担当者会
- 9日 韓国語講座体験会（中止）
- 11-13日 北関東スキーリーダートレーニング（中止）
- 12日 理事会
- 12日 Amazon Future Engineer
- 19日 障がい児者自立支援活動「たんぼぼクラブ」
- 14-18日 国際ウィーク（延期）
- 16日 職員礼拝/職員会
- 16日 中期計画委員会
- 18日 幼保園クリスマス祝会
- 18日 放課後子どもプラン研修（中止）
- 19日 Amazon Future Engineer
- 23日 みどりのセンタークリスマス祝会
- 24日 牛久センタークリスマス祝会
- 25日- 児童クラブウインタースクール開始
- 26-28日 冬スキーキャンプ（中止）
- 29-1/3日 年末年始休館

1月の予定

- 12/29-3日 年末年始休館
- 8日 通常授業開始
- 9-11日 ファミリースキーキャンプ（中止）
- 9日 放課後児童支援員研修
- 9日 放課後子どもプラン研修
- 13日 中期計画委員会
- 15日 主任会
- 16日 小学生デイキャンプクラブ「つくわいクラブ」
- 16日 Amazon Future Engineer
- 23日 放課後子どもプラン研修
- 23日 Amazon Future Engineer
- 29-30日 全国YMCAアフタースクール部会
- 30日 放課後児童支援員研修

2月の予定

- 6日 全体職員会

(連絡主事 大澤)

【編集後記】

異例づくしの2020年が終わり、2021年が幕を開けました。個人的には、2020年のおみくじは「大吉」を引いたのですが、その結果とは裏腹に辛いことの続いた1年でした。ただ、そうであったからこそ、「大吉」とはなにを意味しているんだろうとよく考えた1年でもありました。いまはたとえ辛いことでも、将来振り返ればそのあとの人生にとって大きな意味を持つきっかけとなるできごとだったのだなあと思える、そんな意味の込められた「大吉」だったのだろう、と今はなんとなく捉えています。そういう意味では、昨今よく「コロナ禍」という言葉が使われていますが、COVID-19は、必ずしも禍々しい存在ではなく、振り返ってみれば社会をよりよい方向に導く触媒だった、「禍」ではない、とわたしは信じています。

さて、今年のおみくじの吉凶は、そしてどんなメッセージが書かれているのでしょうか。いまからドキドキしています。その先にはどんな1年が待ち受けているのでしょうか。不安よりも楽しみを抱えて、今年もやっていければいいなと思っています。もちろん、ワイズも。

(書記 村田)

あるTV番組で「箸より重いものを持たない実験」というのがありました。芸人らしき2名が箸より重いものを持たない生活を強いられた3週間、その前後の握力を比較するという企画でした。箸より重いスプーンでカレーを食べるときには、あーんしてもらっていました。そして3週間後、なんと2人とも握力がアップしていたのです。その理由はというと・・・実は、箸より重いものを持たない代わりに2人は毎日1時間以上スクワット等で下半身を鍛えさせられ、食事もタンパク質中心のメニューを食べさせられていたのです。人間のカラダは筋肉づくりについてはあまり器用ではないようで、鍛えた箇所のみにつきり筋肉を増やせなくて鍛えていない場所にも筋肉をつけてしまう・・・というのです。

私はというと、今年の夏から毎日300回のスクワットを続けています。開始はその前年の11月、NHKの「みんなで筋肉体操」にならって1日30回のスクワットを始めました。案の定、翌日は筋肉痛になりましたががんばって31回やりました。その翌日は

32回、その翌日は33回というように毎日1回ずつ増やしてゆきました。そしてついに300回に到達！現在に至ります。皆さんも1日30回からのスクワット、始めてみませんか？

(会長 熊谷)

